

B 2 4 初級 (PC 実習あり)	特許調査の基礎 (電気・機械) 特許調査の種類と明細書のチェックポイント 調査方針の立て方と実際の検索
講師	長澤 洋 (株)オーチャード・オフィス 代表取締役、大阪大学大学院 工学研究科非常勤講師、元 富士通(株) 知的財産権本部)
日程	東京会場 11月19日(木)
時間	1日(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	24名(先着順申し込み)
受講料(税別)	20,000円
対象	電気・機械分野の特許調査担当の初級者
内容	
電気・機械分野における出願前調査をはじめとする特許調査の種類ごとに、技術テーマに沿った正確な調査を行うにはしっかりとした基礎が必要です。実務に即応した調査に一步踏み込んで、調査の初心者レベルからプロレベルのスタート台に立っていただくために、企業で長年調査業務に従事したベテラン講師が調査に関するきちんとした知識やスキルをご紹介します。知財部門、開発部門の調査担当者を対象に調査レベルの向上を目指します。	
プログラム	
1. 特許調査の種類 <ul style="list-style-type: none"> 出願前の公知例調査(先行技術調査) 無効資料調査 侵害予防調査 技術動向調査 2. 明細書のチェックポイント <ul style="list-style-type: none"> 請求項を見る(読む)のか詳細な説明を(読む)見るのか 請求項の読み方 <ul style="list-style-type: none"> 上位概念と下位概念、 予め想定した構成要件とそうでない要件の取り扱い 詳細な説明の読み方 <ul style="list-style-type: none"> 基準日無しの先行技術調査 基準日有りの無効資料調査 基準日のバリエーション(日米などの法制度を含めて、先発主義、国内優先、外国優先権主張、分割、継続出願、仮出願、再発行、再審査…) 	3. 特許分類について <ul style="list-style-type: none"> 分類の種類 IPC, FI, FT CPC 見つけ方 使い分け 4. キーワードについて <ul style="list-style-type: none"> 検索用キーワードについての考え方 多観点(演習?) 規則的な変化 5. 検索キーの組合せ方 分類で攻めるか、キーワードで攻めるか。両者を組み合わせるとしたらどのような考えに基づいて組合せるか。 6. 役に立つ動向分析 特許情報にどこまで期待してよいのか。

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- 商用の特許情報データベース「J P-N E T」による検索実習を予定しております。(PCは当社にてご用意いたします。) ※セミナー冒頭に特許データベース「J P-N E T」の基本操作説明があります。
- セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。